

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11066	3	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	代替医療論 (Alternative Medicines)				
担当教員名	東郷 俊宏				
授業の概要及び到達目標					
<p>相補・代替医療の中にどのような治療法やセラピーが含まれているのか、説明できる。 代替医療の中でも日本で最もよく使われている東洋医学（漢方・鍼灸）についてその概要や独自の身体観、メリット・デメリットについて基礎的な事項を理解する。 代替医療のうち、アロマセラピーや音楽療法について概要や現在の研究状況について説明できる</p>					
準備学習等					
<p>薬局・ドラッグストアなどで見かける漢方薬にはどのようなものがあるか、また手技を用いて行う患者さんの「手当」にはどのようなものがあるか、予め関心を持って講義に臨むことが望ましい。</p> <p>教室内 8 時間（8 週×1 時間）＋予・復 8 時間（8 週×1 時間）</p>					
成績評価の方法	講義の際のレスポンスノート（20%）と定期試験（80%）で判断します				
テキスト	特に指定しません。講義で配布します				
参考図書	講義で指示します				
備考	<p>現代医学だけではなく、多様な医学を統合し患者さんにとってベストの医療を提供するには、どのような知識が看護師として必要か、という問題意識を持って講義に臨んでください。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>オフィスアワー：授業終了後、教室等で質問を受け付けます。 追試験・再試験は実施せず、レポートを課します。</p>				

授 業 計 画

- 第1回：イントロダクション（統合医療の時代—代替医療が求められる背景）
- ・国内外における相補代替医療および統合医療の現況
 - ・相補代替医療とEBM
- 第2回：代替医療とナイチンゲール看護論
- ・ナイチンゲール『看護覚え書き』にみる「自然治癒力」と相補代替医療の関連性
- 第3回：代替医療と東洋医学（1）現代医療における東洋医学とヨガ
- ・現代の日本における東洋医学（漢方・鍼灸・あん摩）の現況について
 - ・ヨガにおける身体観
- 第4回：代替医療と東洋医学（2）漢方医学の基本的な考え方—身体の「くせ」と五行
- ・東洋医学的な宇宙観と身体観、生理観との関連性
- 第5回：代替医療と東洋医学（3）漢方医学の基本的な考え方—気血津液
- ・東洋医学的な疾病に対する考え方
- 第6回：代替医療と東洋医学（4）漢方医学で考える「ひとの心」
- ・東洋医学的な精神、「こころ」に対する考え方
- 第7回：代替医療と音楽療法、アロマセラピー
- ・音楽療法の適応、研究の現状について
 - ・アロマセラピーの適応、臨床の実際、研究の現状について
- 第8回：まとめ—現代社会の中で相補代替医療をどのように活かしていくべきか
- ・高齢者の介護と相補代替医療
 - ・学校における「身体ケア」の教育と相補代替医療の考え方